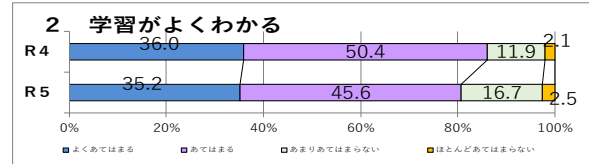
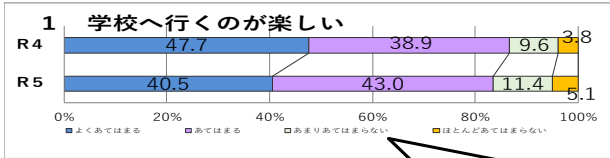
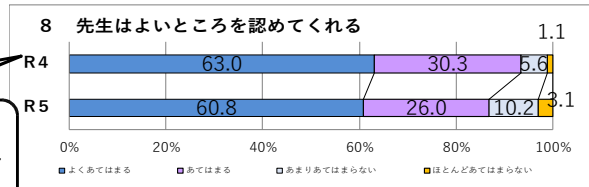
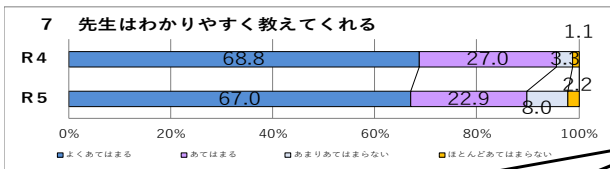
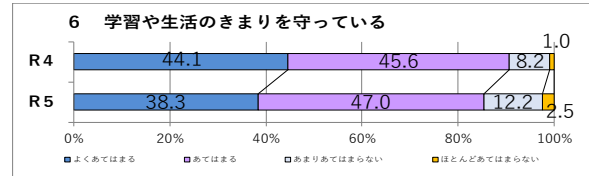


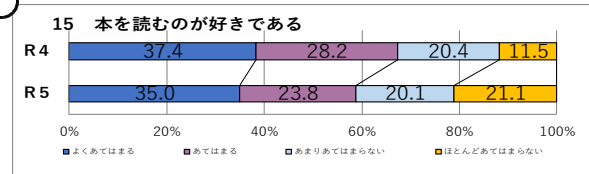
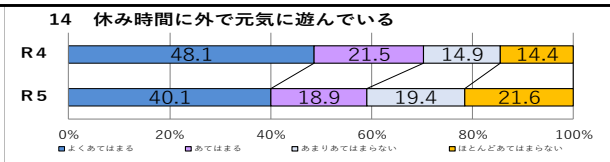
学校生活・学習理解について



5月よりコロナが5類になり、以前の学習活動が100%戻っており会話や子どもどうしの関わりが増えてきました。その反面、人間関係の悩みや学習への不安もあると思います。個別に寄り添い、話の聞ける関係を作っていかなければと考えます。

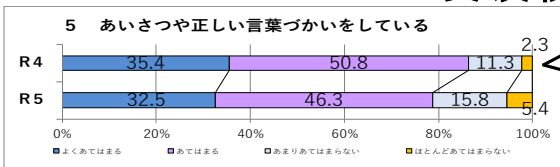


「よくあてはまる」「あてはまる」と答えた児童が昨年より6.5ポイント下がっており、褒めることが少なくなっているのではないかと考えます。注意する点だけでなく、よいところにしっかり目を向けていきたいです。

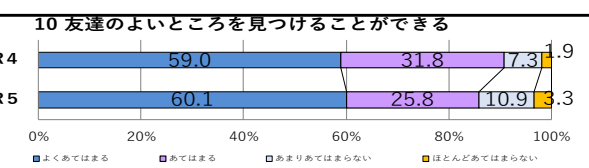
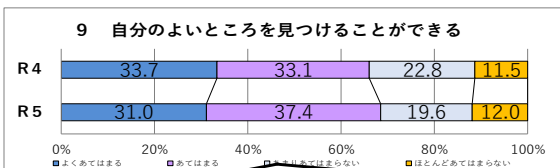


学校生活時間のほとんどが教科学習ですが、休憩時間や給食の時間も子どもどおしの人間関係を作る上で大切です。それらの全ての時間が充実することで、学力向上につながると考えます。また、教員と子ども、教員と保護者の皆様との信頼関係も大きく関係しています。安定した生活を送れるよう個別の課題を見逃さず、適切な対応ができるよう取り組んでいきたいです。

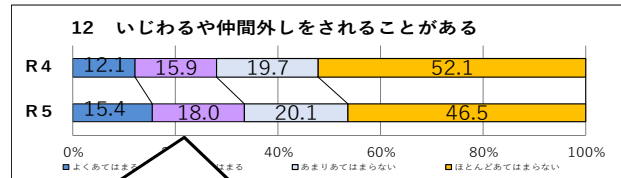
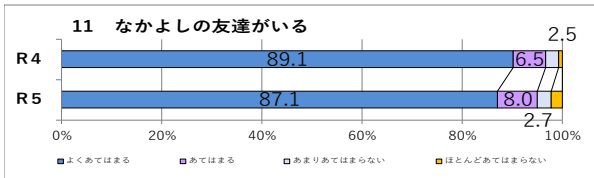
交友関係について



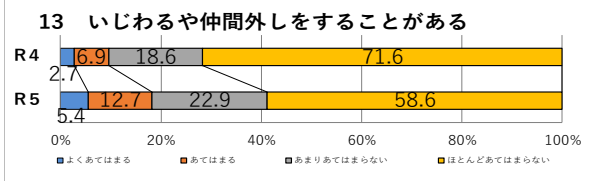
自ら進んでのあいさつや正しい言葉遣いは、まだまだ十分ではないようです。児童会や6年生が中心となり、朝の挨拶運動をしています。なかなか返事が返ってこなかったり、乱暴な言葉もたまに耳にしたりします。心のふれあいが生まれ、あったか言葉でつながるような学習活動を増やしていきたいです。



9の「よくあてはまる」「あてはまる」が増えていますが、10は減っています。自分のよさを知るためには周りの大人がしっかり関わり、良いところを見つけて褒めることが大切です。自分を好きになると人にも優しくなれると考えます。そのために、学校では、協働的な活動や、仲間づくりや人権意識を高めるための道徳や人権学習を強化するなどに取り組んでいきます。

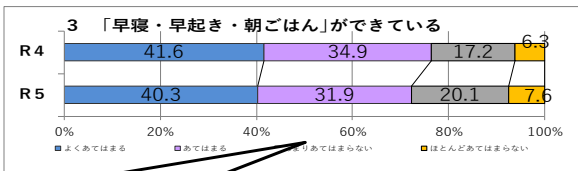


項目12の「いじわるをされることがある」が少し増えています。子どもどうしの触れ合いが増えたためだと思いますが、増えただけで関わり方の経験不足で、トラブルになったときの解決方法が分からずいじわるをされても解決する力は付いていないと考えます。

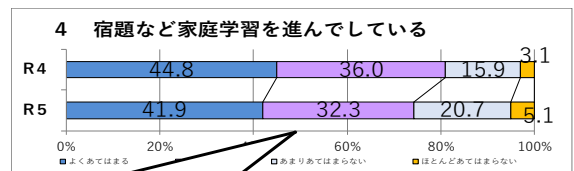


今年度は集会活動がコロナ禍前に戻り、体育館で全校児童が集合し、顔を見合わせながらゲームをしたり合唱したりして、全員で同じことをすることの大切さを改めて感じました。特に、人権集会で「手をつなごう」の合唱をしたときは、気持ちを一つに体育館中に響く歌声に感動を覚えました。このような活動や時間が増え、お互いのことを理解することができ、違いや特質を尊重し、人権が尊重され偏見や思いこみのない正しい見方ができる力が付いていくと考えています。

家庭生活・生活習慣について

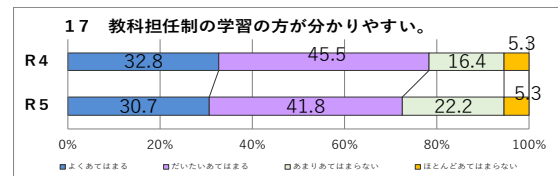
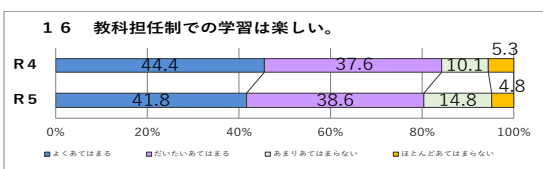


「朝ごはん」は体のスイッチを入れる大切なものです。できるだけ100%に近づけるため、引き続きご協力をお願いします。



家庭学習が定着できていないことがよく分かります。習慣化するため、引き続き家庭で話し合っていたいただきたいと思います。

教科担任制について（高学年のみ）



今年度で教科担任制は5年目が終わりました。項目16・17共に、「よくあてはまる」「あてはまる」が7・8割程度に留まっています。今一度、教科担任制のシステムや専門性を振り返り、よりよい学習方法になるよう改善していきたいです。教員側の感覚としては、全教員が全員を支援していくという点では、生徒指導面で有利な方法であると自負しています。

今年度の教育目標は昨年度に引き続き「学び合い笑顔あふれる学校」です。教職員の研修としては、授業力向上や「コンプライアンス」関係の研修に力を入れてきました。また、児童が抱えている問題等の共通理解の会も重ねてきました。まだまだ学習規律の習慣化、生活面でのルールの徹底等課題はあります。主体的に学習する環境作りや働きかけにも努め、細かい指導を徹底していきたいと思っております。保護者の皆様との信頼関係の構築に向けてますます精進していきたいと考えております。1年間大変お世話になりました。来年度もよろしくお願いたします。